

# 令和4年度の教育目標と 教育長・教育委員からお伝えしたいこと

磐田市教育委員会の目標

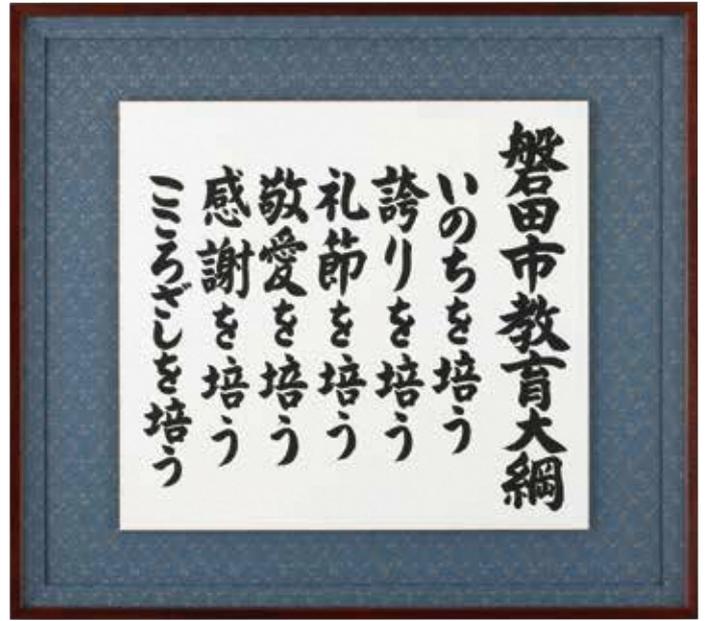
「ふるさとを愛し 未来をひらく 心豊かな磐田市民」

「子育て、教育なら磐田」と誰もが実感できるまちづくりを下記のとおり目指します。

かけがえのない命を精一杯生き、ふるさとの先人たちが築きあげた磐田の大地に根を張った人づくりの精神と伝統文化を未来へ継承し、生涯にわたり社会を生き抜く力を育成します。

さらに、学校・地域・家庭の連携・融合による学府を核とした新時代の教育コミュニティを形成し、次代の社会をつくる学びの場を創造します。

本市の未来をひらく礎となる基本理念「教育大綱」へは、「磐田の教育」道しるべ」と、子どもたちの成長を育む「磐田市こども憲章」により進むべき方向が示されています。学校・地域・家庭への浸透を目指します。



- 「磐田の教育」道しるべ
- 一、かけがえのない命を精一杯生きること
  - 一、自分のよさを誇りとし自信をもって行動すること
  - 一、美しい立ち居振る舞いと温かな言葉づかいをすること
  - 一、勤労・勤勉を喜びとすること
  - 一、真善美に照らし正しい判断をすること
  - 一、大志を抱き困難を乗り越えること
  - 一、敬愛の心を持ち家族を大切にすること
  - 一、感謝の気持ちは「ありがとう」と素直に伝えること
  - 一、年長者を敬い年少者を慈しむこと
  - 一、寛大な心をもって人を愛し許すこと
  - 一、郷土愛をもって伝統文化の継承を行うこと
  - 一、宇宙・自然への畏敬の念をもつこと

平成二十六年三月策定



## 「冷暖自知」

令和4年度は飛躍の年であります。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、新しい生活様式の中で、子どもたち、教職員は頑張ってきました。心から感謝します。修学旅行などの行事ができなかったり、学校閉鎖を行ったりしなくてはならないこともあり、子どもたちや教職員の皆さんには、辛く、苦しい思いをさせたのではないのでしょうか。薬やワクチンの開発が進み、日々刻々と変化しますが、コロナ対応は引き続き、これまでの各学校の実績を今年度も生かし、コロナ禍であっても新たなステージへ飛躍していくことを期待しています。

1人1台のLTEモデルの端末が配付され、思考ツールの利用やアンケート調査、インターネット情報の活用などが盛んに行われました。先生方の努力により、授業での活用も積極的に行われ、飛躍的な一歩を踏み出すことができました。ただし、コンピューターを使っていることが、学びが成立していることであると錯覚を起こすことがないように気を付けたいものです。冷たいとか暖かいとか知るには、実際に触ってみないと、本当に知ることはできません。深い学び、本当に知るとか理解することとは何か、しっかりと考えていくことが求められています。共に頑張りましょう。

「いのち」を大切にしたい。日常性に埋没し、明日も同じ日が続く錯覚を起こしている私たち。瀬戸内寂聴が言う「切に生きる」ことができていない。「切に生きる」には、「冷暖自知」の姿勢が不可欠である。だから、子どもたちの「いのちの物語」を大切にできる。

教育長 村松啓至



# 令和4年度磐田市教育委員会の計画体系と主要な事業

教育委員会の目標

「ふるさとを愛し 未来をひらく 心豊かな磐田市民」

## 方針1 子どもの「生きる力」を育みます。

変化する社会において、困難なことも乗り越えていく『しなやかさ』をもった「生きる力」を育みます。

## 方針2 子どもの成長を支える「地域力」をさらに活用します。

多様性を大切に、心温かな地域コミュニティを活用し、地域ぐるみで郷土愛に満ち溢れた子どもの成長を支えます。

## 方針3 市民が活用しやすい「学びの場や環境」を整備します。

良質な言葉に巡り合うことで、豊富な語彙により豊かな人生を送れるよう、「学びの場や環境」の整備を推進します。



### 施策1 魅力ある園・学校づくりの推進

小中一貫教育、コミュニティ・スクール、1人1台のLTE端末を最大限活用したICT教育、学府バスの運行、食育及び安全・安心な学校給食、食物アレルギー対応、主体性を大切にした環境を通して行う保育

### 施策2 「個」に応じたきめ細やかな支援・指導の充実

スクールソーシャルワーカー、通級指導教室、不登校等対応、要保護児童等対策協議会(こども未来課所管)、関係機関(医療機関等)との連携、個別最適化学習

### 施策1 地域の学習資源を活かした教育活動の推進

歴史教室、未来授業、ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦、ジュビロ学校訪問

### 施策2 子どもを健やかに育む地域づくり

青少年健全育成、人権教育、放課後児童クラブ、放課後子供教室、地域連携室

### 施策3 家庭、地域、園・学校における読書活動の推進

茶の間ひととき読書運動、学校・園・その他関連施設との連携によるおはなし会

### 施策1 学校施設などの安全・充実

学府一体校の推進、公立園の再編・再築(一部公立園の民営化移行準備)、小中学校特別教室等へのエアコン整備

### 施策2 就学のための経済的支援

就学援助費、特別支援教育就学奨励費、私立幼稚園運営費補助

### 施策3 図書館サービスの向上

図書館資料・イベント・講座の充実、電子書籍サービスの推進、ボランティア等の育成

### 施策4 歴史遺産の整備・活用

文化財の調査・保存・整備・活用、伝統行事の継承支援

### 施策5 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の環境整備

交流センター講座、「学びの師」や「学びの友」による情報提供、磐田スポーツ部活の運営、青少年を対象とした文化芸術の育成

## 教育委員からのメッセージ

子どもの頃、「相手の身になれ」と教えられました。自分が人からこうしてほしいと思うことを人に対して行うこと。それは、その後の人生で大切な判断基準となりました。

今、スマホで誹謗中傷をしたり、陰でいじめをしたり、自分がされたら嫌なことをする子どもや、逆に、落とし物を一緒に捜してくれたり、自分の仕事でなくても手伝ってくれる子どももいます。大人は後者をしっかり褒めることが大切です。なぜなら、ますます良いことをしようと思うからです。皆が善行を積み重ねれば、世の中どんなに住みよい所になることか、と。



教育委員  
青島 美子

子どもには、失敗や困難に直面したとき、倒れても起き上がれるしなやかさと強さを身につけてほしいと思います。時代の変化に対応すべく1人1台端末を持ち、ツールとして効果的に使い、活発な意見交換や、学習に深みを持たせている先生方の授業研究には頭が下がります。一方で同じ年代や同じ志をもつ仲間と集えることは普遍的価値だと確信します。「我達人」です。

家族や地域の大人、教師から見守られている実感は、人生を切り拓く力となり、穏やかで優しい言葉をもつ大人への道しるべとなるでしょう。



教育委員  
鈴木 好美

新型コロナウイルス感染症への対応、米中対立による諸問題、脱炭素化(気候変動への取り組み)など、難題が山積しております。先行きが見通せない世の中ではありますが、日々の暮らしにおきましては、豊かな自然や伝統文化などに触れ、様々なことを学び経験し、個々の力を伸ばし、潮流の変化をチャンスととらえ、自発的に課題解決へ取り組む力を付けることが今まで以上に重要であると思います。みんなで頑張っていきたいと思います。



教育委員  
秋元 富敏

5月27日付けにて教育委員に選任されました大橋弘和と申します。その責任の重大さに身の引き締まる思いです。

甚だ微力ではございますが、村松教育長をはじめ3名の教育委員と教育委員会事務局と一丸となり磐田市の教育の発展に全力を挙げて取り組んでまいりますので、今後とも皆さまご協力よろしくお願いいたします。

学校、家庭、地域の皆様にご協力をいただき、わたくしたちの宝物である「子どもたち」を「たくましい磐田人」に育てていきたいと思います。



教育委員  
大橋 弘和

# 磐田市教育委員会から皆様へ これまでしてきたこと、していること、これからのこと (令和4年4月現在)

## 1. これまでに進めてきた主な事業

### (1) 教育施策と学校教育

- ①小中学校への「ふるさと先生」の配置 ～市費負担教員による35人学級の実現～(H17～H29)
- ②学校(福田中・豊浜小・竜洋東小)校舎屋上への津波避難階段の設置(H24)
- ③校務支援システム(H24指導要録・通信票・出席簿等、H30超過在校時間の管理)を導入
- ④小中一貫教育を全10学府(中学校区)で実施(H24～段階的に、H28～全学府で実施)
- ⑤小1～中3までの「英語」モデルカリキュラム作成(H25)
- ⑥全小中学校の校舎耐震化が完了(H26)
- ⑦全小中学校をコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)に指定(H27)
- ⑧磐田北小学校プール施設の改築(H29)
- ⑨磐田北幼稚園園舎の改築(H29)
- ⑩磐田市アレルギー対応の手引きの作成(H29)
- ⑪LD(学習障害)等通級指導教室の拡充(H30～)
- ⑫磐田なかよしこども園の開設(H30新築工事、R1保育開始・園庭整備)
- ⑬小中学校の施設整備(H30～R1体育館照明LED化、R1トイレ暖房便座化・普通教室エアコン設置)
- ⑭ラグビーW杯に合わせた国際理解の促進(R1)
- ⑮放課後児童クラブの施設拡充《H27:37クラブ、R2:50クラブ》
- ⑯「ふるさと礎プラン」～校長経験者4人による若手教員へのサポート体制の構築～
- ⑰大型モニター・書画カメラを小・中学校全学級へ導入(H29～R2)
- ⑱岩田こども園の民営化(R3)
- ⑲ながふじ学府小中一体校開校(R3)
- ⑳東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせた国際理解の促進(H29～R2)



楽しく遊ぶ園児の様子

### ※将来を担う子どもたちのために市全体で取り組む事業

- ①ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦
- ②広島平和記念式典への小中学生派遣
- ③海外への中学生派遣
- ④家庭教育と青少年支援の充実



ジュビロ磐田ホームゲーム一斉観戦

### (2) 図書館と文化財

- ①電子図書館による貸出サービスの開始(H29)
- ②中央図書館及び福田図書館へのWi-Fiの設置(H30)
- ③英語多読・健康医療情報コーナーの設置(H30)
- ④国立国会図書館視覚障害者用データサービスの利用開始(R1)
- ⑤ブックスタート事業・茶の間ひととき読書活動《乳幼児期からの読書推進》
- ⑥デジタルデータベース閲覧サービス提供(国会図書館、法律情報、新聞記事)、県立図書館配本サービス
- ⑦文化財・民俗資料等保存活用啓発事業《訪問歴史教室や施設見学・講座の開催》
- ⑧指定文化財保存事業《修繕費助成、調査及び指定、民俗文化財の映像化》
- ⑨文化財保存活用地域計画の作成



竜洋図書館七夕まつり

## 2. 現在進めている主な事業

### (1) 教育施策と学校教育

#### ●教育総務課

- ①向陽学府小中一体校の推進(R2～)
- ②小中学校の施設整備(R4～屋上防水改修・トイレ改修)
- ③小中学校の特別教室へのエアコン設置

#### ●学校給食課

- ①給食材料への地産地消の拡大(H29～)
- ②食物アレルギー対応の充実(H24～段階的に実施)

#### ●学校教育課

- ①GIGAスクール構想(1人1台端末)による個別最適・協働的な学びの充実(R3～)
- ②市費負担教員「ふるさと先生」の配置《小中一貫教育の推進と生徒指導の充実》
- ③教育支援員の配置《子どもへのきめ細かな支援を充実》
- ④外国人児童生徒支援の拡充
- ⑤S.P.E.A.Kプロジェクト《中3対象に、市ALTが英会話の力を調査》
- ⑥e-S.P.E.A.Kプロジェクト試行(R5から本格実施。学府内の小6児童が英語で交流。)
- ⑦小学校低学年に対する「英語」モデルカリキュラムとモジュール学習の実施
- ⑧そろばん学習・道徳・食育学習・プログラミング教育・国際理解教育
- ⑨スクールソーシャルワーカーの配置



1人1台端末による学習

### (2) 図書館と文化財

#### ●中央図書館

- ①地域に根差した各図書館の特色づくり
- ②電子書籍サービスの充実
- ③読み聞かせ等のボランティア、視覚障害者サービス協力員の育成

#### ●文化財課

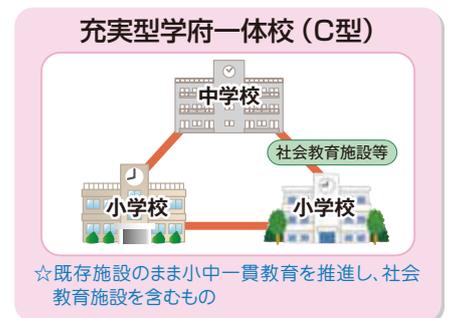
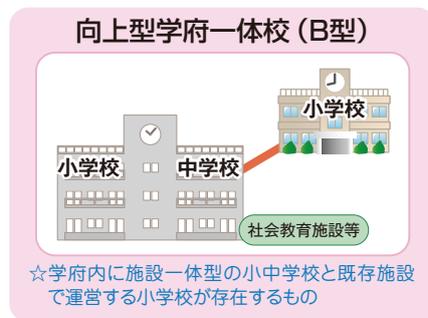
- ①遠江国分寺跡(国の特別史跡)の整備  
《木装基壇や燈籠の復元、四阿等の建設に向けての設計及び環境整備》
- ②旧見付学校附磐田文庫(国の史跡)保存活用計画の作成
- ③開発事業(店舗建設、こども園、道路改良事業等)に伴う遺跡の発掘調査及び整理作業
- ④歴史文書館企画展等のイベントの開催
- ⑤古文書ボランティアによる古文書解読作業



旧見付学校での昔の授業体験

## 3. これからの課題

### ①学府一体校の推進



- ②幼児教育と学校教育の一層の理解に基づいた円滑な接続の推進
- ③図書館資料の充実と中高生・高齢者の利用の促進
- ④文化財関連施設・史跡等の適切な維持管理と利活用の推進
- ⑤学校給食施設のあり方の検討
- ⑥いじめ・不登校・児童虐待など、「こころの健康観察調査」等を利用した積極的対応

⇒ 子ども一人一人の「いのち」を大切にしていきます。

編集／磐田市教育委員会事務局  
教育部教育総務課  
〒438-8650 静岡県磐田市市国府台3-1  
TEL.0538-37-4821 FAX.0538-36-1517  
kyoikusomu@city.iwata.lg.jp  
発行／令和4年4月